

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|---|--|-----|
| 1-1) 住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生 | | 25 |
| | 【国交】住宅の耐震化率 | |
| | 【国交】建築物の耐震化率 | |
| | 【国交】大規模盛土造成地マップ公表率 | |
| | 【国交】液状化ハザードマップ公表率 | |
| | 【国交】官庁施設の耐震基準を満足する割合 | |
| | 【文科】公立小中学校施設の構造体の耐震化率 | |
| | 【文科】緊急的に必要な公立小中学校施設の老朽化対策の実施率 | |
| | 【文科】国立大学法人等施設の耐震化率 | |
| | 【文科】教育研究活動に著しく障がある国立大学法人等施設(ライフラインを含む)の老朽化対策の実施率 | |
| | 【文科】国立大学附属病院の整備の進捗率 | |
| | 【文科】私立学校施設の耐震化率(高校等以下) | |
| | 【文科】私立学校施設の耐震化率(大学等) | |
| | 【文科】防災拠点に指定されている公立社会体育施設(体育館)の耐震化率 | |
| | 【厚労】社会福祉施設等の耐震化率 | |
| | 【法務】法務省施設の耐震化率 | |
| | 【法務】矯正施設の耐震化率 | |
| | 【警察】都道府県警察本部及び警察署の耐震化率 | |
| | 【防衛】自衛隊施設のブロック塀等の整備実施率 | |
| | 【国交】緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率 | |
| | 【国交】市街地等の幹線道路の無電柱化率 | |
| | 【国交】緊急地震速報の迅速化 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【環境】自然公園等施設の緊急対策箇所 | |
| 1-2) 密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生 | | 6 |
| | 【国交】地震時等に著しく危険な密集市街地の解消面積 | |
| | 【国交】一定水準の防災機能を備えるオープンスペースが一箇所以上確保された大都市の割合 | |
| | 【国交】公園施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【国交】地籍調査進捗率 | |
| | 【国交】南海トラフ地震の津波により建物が全壊する可能性が高い地域のうち、地籍調査の未実施地域における官民境界情報の整備率 | |
| 1-3) 広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生 | | 32 |
| | 【法務】法務省施設の耐震化率 | |
| | 【法務】矯正施設の耐震化率 | |
| | 【文科】国立大学附属病院の整備の進捗率 | |
| | 【国交】官庁施設の耐震基準を満足する割合 | |
| | 【警察】都道府県警察本部及び警察署の耐震化率 | |
| | 【農水国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 | |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において、今後対策が必要な水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率 | |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・樋門等の耐震化率 | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率 | |
| | 【国交】災害時における下水処理場の機能確保率 | |
| | 【国交】下水道施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 河川 [地方公共団体] | |
| | 【国交】都道府県河川におけるタイムラインの策定数 | |
| | 【国交】津波防災情報の整備率 | |
| | 【防衛】ヘリコプター映像伝送装置を用いた情報収集体制の整備率 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| | 【農水】水産物の流通拠点となる漁港のうち、災害発生時における水産物の早期回復体制が構築された漁港の割合 | |
| | 【国交】最大クラスの津波に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施 | |
| | 【国交】最大クラスの高潮に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【防衛】防災訓練等の実施率 | |
| | 【防衛】資機材等の整備率 | |
| | 【防衛】通信機器等の整備率 | |
| | 【防衛】車両等の整備率 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波避難計画策定数 | |
| | 【国交】南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に所在する港湾(重要港湾以上)における避難計画の策定率 | |
| | 【農水】防災機能の強化対策が講じられた漁村の人口比率(H29～) | |
| | 【国交】地籍調査進捗率 | |
| | 【国交】南海トラフ地震の津波により建物が全壊する可能性が高い地域のうち、地籍調査の未実施地域における官民境界情報の整備率 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|---|---|-----|
| 1-4) 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生 | | 24 |
| | 【国交】人口・資産集積地区等における河川整備計画目標相当の洪水に対する河川の整備率 | |
| | 【国交】人口・資産集積地域等の流域貯留施設の貯留量 | |
| | 【国交】水防法に基づく大規模氾濫減災協議会等の設置率 | |
| | 【国交】「水防災意識社会 再構築ビジョン」に沿って、「洪水氾濫を未然に防止する対策」として堤防のかさ上げ等を実施した区間の延長(国管理) | |
| | 【国交】水防災意識社会 再構築ビジョン」に沿って、「危機管理型ハード対策」として決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫を実施した区間の延長(国管理) | |
| | 【国交】最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施した市区町村の割合 | |
| | 【国交】都道府県河川におけるタイムラインの策定数 | |
| | 【国交】最大クラスの内水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施した市区町村の割合 | |
| | 【国交】下水道による都市浸水対策達成率 | |
| | 【国交】台風予報の精度(台風中心位置の予報誤差) | |
| | 【国交】大雨警報のための雨量予測精度 | |
| | 【国交】津波防災情報の整備率 | |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において、今後対策が必要な水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率 | |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 河川 [地方公共団体] | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 ダム [地方公共団体] | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 砂防 [地方公共団体] | |
| | 【国交】下水道施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【国交】災害時における下水処理場の機能確保率 | |
| | 【農水国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| | 【国交】地籍調査進捗率 | |
| | 【国交】南海トラフ地震の津波により建物が全壊する可能性が高い地域のうち、地籍調査の未実施地域における官民境界情報の整備率 | |
| 1-5) 大規模な火山噴火・土砂災害(深層崩壊)等による多数の死傷者の発生 | | 18 |
| | 【国交】土砂災害から保全される人家戸数 | |
| | 【国交】土砂災害警戒区域を指定、又は指定予定市町村において、土砂災害防止法に基づく土砂災害ハザードマップを公表済みの市町村の割合 | |
| | 【国交】火山噴火緊急減災対策砂防計画の策定数 | |
| | 【国交】噴火警戒レベルの運用による火山防災の推進 | |
| | 【文科】公共の安全の確保(国内及びアジア地域等の災害時の情報把握) | |
| | 【文科】公共の安全の確保(地殻変動の予測・監視) | |
| | 【内閣府】噴火時等の具体的で実践的な避難計画の策定率 | |
| | 【文科】ALOS-2の運用年数 | |
| | 【国交】全国陸域の99の活火山のうちSAR衛星データによる地殻変動の監視を行った割合 | |
| | 【農水】耐震対策が必要と判明している重要度の高い国営造成施設における耐震化計画の策定割合 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| | 【国交】地籍調査進捗率 | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 砂防 [地方公共団体] | |
| | 【国交】全国活断層帯情報等の整備進捗率 | |
| | 【環境】自然再生事業実施計画の策定数 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【農水】周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の数 | |
| | 【環境】自然公園等施設の緊急対策箇所 | |
| 1-6) 暴風雪や豪雪等に伴う多数の死傷者の発生 | | 8 |
| | 【国交】大雪に関する情報の改善 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【防衛】野外通信システム等を用いた連携訓練の実施率 | |
| | 【防衛】通信システム等対象装備品の整備率 | |
| | 【防衛】衛星及びマイクロ器材の整備率 | |
| | 【防衛】防災訓練等の実施率 | |
| | 【防衛】ヘリコプター映像伝送装置を用いた情報収集体制の整備率 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| 2-1) 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止 | | 15 |
| | 【農水】防災機能の強化対策が講じられた漁村の人口比率(H29～) | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |
| | 【国交】南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に所在する港湾(重要港湾以上)における避難計画の策定率 | |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に救急・救命、緊急物資輸送拠点としての機能を有する空港から一定範囲に居住する人口 | |
| | 【農水】水産物の流通拠点となる漁港のうち、災害発生時における水産物の早期回復体制が構築された漁港の割合 | |
| | 【厚労】上水道の基幹管路の耐震適合率 | |
| | 【経産】災害時石油供給連携計画実施訓練の前年度課題の改善率 | |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【経産】低圧本支管の耐震化率 | |
| | 【環境】本事業により整備した避難所等の数 | |
| | 【経産】災害発生時、避難所となりうる施設や公的避難所における燃料タンクの配備率 | |
| | 【農水】応急用食料(主食系)の充足率 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|---|---|-----|
| 2-2) 多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生 | | 10 |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【国交】緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率 | |
| | 【国交】道路斜面や盛土等の要対策箇所の対策率 | |
| | 【農水】水産物の流通拠点となる漁港のうち、災害発生時における水産業の早期回復体制が構築された漁港の割合 | |
| | 【警察】ドローンの飛行訓練の実施状況 | |
| | 【警察】映像伝送用資機材等の更新・増強率 | |
| | 【警察】都道府県警察本部及び警察署の耐震化率 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【防衛】災害救助能力の向上に資する装備品(CH-47JA)の整備率 | |
| | 【防衛】災害救助能力の向上に資する装備品(SH-60K/K(能力向上型))の整備率 | |
| 2-3) 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 | | 28 |
| | 【総務】緊急消防援助隊の増強 | |
| | 【総務】土砂・風水害機動支援部隊の配備 | |
| | 【総務】拠点機能形成車の配備 | |
| | 【国交】TEC-FORCEと連携し訓練を実施した都道府県の割合 | |
| | 【防衛】配置可能な基幹要員の養成率 | |
| | 【防衛】災害救助能力の向上に資する装備品(CH-47JA)の整備率 | |
| | 【防衛】災害救助能力の向上に資する装備品(SH-60K/K(能力向上型))の整備率 | |
| | 【防衛】災害派遣時に迅速に人員及び物資の派遣を可能とする装備品(C-2)の取得・整備率 | |
| | 【防衛】防災訓練等の実施率 | |
| | 【防衛】ヘリコプター映像伝送装置を用いた情報収集体制の整備率 | |
| | 【防衛】資機材等の整備率 | |
| | 【防衛】通信機器等の整備率 | |
| | 【防衛】車両等の整備率 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【警察】ドローンの飛行訓練の実施状況 | |
| | 【警察】映像伝送用資機材等の更新・増強率 | |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |
| | 【総務】消防庁舎の耐震率 | |
| | 【防衛】【耐震化対策】自衛隊施設(耐震改修促進法等を踏まえた3階建て以上、かつ、床面積の合計が1,000㎡以上の庁舎等)の耐震化実施率 | |
| | 【警察】都道府県警察本部及び警察署の耐震化率 | |
| | 【防衛】津波対策計画策定率 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に救急・救命、緊急物資輸送拠点としての機能を有する空港から一定範囲に居住する人口 | |
| | 【防衛】【3か年緊急対策】自衛隊施設に関する緊急対策の耐震化対策に係る整備実施率 | |
| | 【防衛】【3か年緊急対策】自衛隊施設に関する緊急対策の老朽化対策に係る整備実施率 | |
| | 【防衛】【3か年緊急対策】自衛隊施設に関する緊急対策の電力供給能力向上に係る整備実施率 | |
| 2-4) 想定を超える大量の帰宅困難者の発生、混乱 | | 2 |
| | 【内閣府国交】都市再生安全確保計画等の策定とPDCAサイクルの実施 | |
| | 【国交】一定水準の防災機能を備えるオープンスペースが一箇所以上確保された大都市の割合 | |
| 2-5) 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 | | 10 |
| | 【経産】災害発生時、避難所となりうる施設や公的避難所における燃料タンクの配備率 | |
| | 【経産】災害時石油供給連携計画実施訓練の前年度課題の改善率 | |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【環境】本事業により整備した避難所等の数 | |
| | 【文科】国立大学附属病院の整備の進捗率 | |
| | 【国交】災害時における主要な管渠の機能確保率 | |
| | 【防衛】配置可能な基幹要員の養成率 | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に救急・救命、緊急物資輸送拠点としての機能を有する空港から一定範囲に居住する人口 | |
| 2-6) 被災地における疫病・感染症等の大規模発生 | | 9 |
| | 【厚労】予防接種法に基づく麻しん・風しんの予防接種率 | |
| | 【国交】災害時における主要な管渠の機能確保率 | |
| | 【国交】災害時における下水処理場の機能確保率 | |
| | 【国交】下水道施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【農水】農業集落排水施設の機能診断の実施率 | |
| | 【環境】災害復旧に対応した浄化槽台帳システム整備自治体数 | |
| | 【環境】浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の基数割合 | |
| | 【環境】浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率 | |
| | 【文科】国立大学附属病院の整備の進捗率 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|---|---|-----|
| 2-7)劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生 | | 23 |
| | 【文科】公立小中学校施設の構造体の耐震化率 | |
| | 【文科】緊急的に必要な公立小中学校施設の老朽化対策の実施率 | |
| | 【文科】国立大学法人等施設の耐震化率 | |
| | 【文科】教育研究活動に著しく支障がある国立大学法人等施設(ライフラインを含む)の老朽化対策の実施率 | |
| | 【文科】国立大学附属病院の整備の進捗率 | |
| | 【文科】私立学校施設の耐震化率(高校等以下) | |
| | 【文科】私立学校施設の耐震化率(大学等) | |
| | 【文科】防災拠点に指定されている公立社会体育施設(体育館)の耐震化率 | |
| | 【厚労】社会福祉施設等の耐震化率 | |
| | 【経産】災害発生時、避難所となりうる施設や公的避難所における燃料タンクの配備率 | |
| | 【環境】本事業により整備した避難所等の数 | |
| | 【環境】環境省が自治体を対象に実施したアンケートで暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合 | |
| | 【環境】災害復旧に対応した浄化槽台帳システム整備自治体数 | |
| | 【環境】浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の基数割合 | |
| | 【環境】浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率 | |
| | 【環境】災害時再稼働可能な施設の割合 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| | 【国交】災害時における主要な管渠の機能確保率 | |
| | 【国交】災害時における下水処理場の機能確保率 | |
| | 【国交】下水道津波BCPのブラッシュアップ率 | |
| | 【厚労】災害時健康危機管理支援チーム養成研修(基礎編)の受講実績 | |
| | 【厚労】災害時健康危機管理支援チーム養成研修(高度編)の受講実績 | |
| | 【防衛】防災訓練等の実施率 | |
| 3-1)被災による司法機能、警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 | | 9 |
| | 【法務】法務省施設の耐震化率 | |
| | 【法務】矯正施設の耐震化率 | |
| | 【法務】矯正施設の被災状況に関する関係機関等との情報共有体制の検討及び構築並びに訓練の実施 | |
| | 【警察】都道府県警察本部及び警察署の耐震化率 | |
| | 【警察】都道府県警察における警察用航空機の夜間撮影用資機材及び救難救助用連絡資機材の整備率 | |
| | 【警察】ドローンの飛行訓練の実施状況 | |
| | 【警察】映像伝送用資機材等の更新・増強率 | |
| | 【警察】信号機電源付加装置の整備率(補助事業) | |
| | 【警察】プローブ情報処理システムによる道路状況等の把握割合 | |
| 3-2)首都圏等での中央官庁機能の機能不全 | | 7 |
| | 【国交】官庁施設の耐震基準を満足する割合 | |
| | 【警察】ドローンの飛行訓練の実施状況 | |
| | 【警察】映像伝送用資機材等の更新・増強率 | |
| | 【防衛】野外通信システム等を用いた連携訓練の実施率 | |
| | 【防衛】通信システム等対象装備品の整備率 | |
| | 【防衛】衛星及びマイクロ器材の整備率 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| 3-3)地方行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下 | | 16 |
| | 【内閣府】地方公共団体の業務継続計画の策定率(南海トラフ地震防災対策推進地域) | |
| | 【内閣府】地方公共団体の業務継続計画の策定率(首都直下地震防災対策推進地域) | |
| | 【総務】災害対策本部が設置される庁舎の非常用電源の整備率 | |
| | 【厚労】災害時健康危機管理支援チーム養成研修(基礎編)の受講実績 | |
| | 【厚労】災害時健康危機管理支援チーム養成研修(高度編)の受講実績 | |
| | 【防衛】野外通信システム等を用いた連携訓練の実施率 | |
| | 【防衛】通信システム等対象装備品の整備率 | |
| | 【防衛】衛星及びマイクロ器材の整備率 | |
| | 【国交】全国活断層帯情報等の整備進捗率 | |
| | 【警察】都道府県警察本部及び警察署の耐震化率 | |
| | 【総務】消防庁舎の耐震率 | |
| | 【総務】防災拠点となる公共施設等の耐震率 | |
| | 【経産】災害時石油供給連携計画実施訓練の前年度課題の改善率 | |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】津波防災情報の整備率 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|---|---|-----|
| 4-1) 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止 | | 13 |
| | 【総務】自治体庁舎等における非常用通信手段の確保状況 | |
| | 【内閣府】安否確認サービス導入自治体数 | |
| | 【防衛】野外通信システム等を用いた連携訓練の実施率 | |
| | 【防衛】通信システム等対象装備品の整備率 | |
| | 【防衛】衛星及びマイクロ器材の整備率 | |
| | 【防衛】資機材等の整備率 | |
| | 【防衛】通信機器等の整備率 | |
| | 【防衛】車両等の整備率 | |
| | 【警察】ドローンの飛行訓練の実施状況 | |
| | 【警察】映像伝送用資機材等の更新・増強率 | |
| | 【警察】警察移動無線通信システムの更新・統合 | |
| | 【文科】ETS-9の技術実証(大電力化、高排熱技術) | |
| | 【文科】ETS-9の技術実証(全電化衛星技術) | |
| 4-2) テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態 | | 3 |
| | 【総務】交付決定件数 | |
| | 【文科】ETS-9の技術実証(大電力化、高排熱技術) | |
| | 【文科】ETS-9の技術実証(全電化衛星技術) | |
| 4-3) 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態 | | 16 |
| | 【総務】Lアラートを運用している都道府県数 | |
| | 【総務】Lアラート高度化システムを導入している都道府県数 | |
| | 【総務】Lアラートの地図化システムを災害対応支援システムに機能拡張する際の標準仕様の策定 | |
| | 【内閣府】安否確認サービス導入自治体数 | |
| | 【総務】防災等に資するWi-Fi環境の整備済み箇所数 | |
| | 【防衛】通信機器等の整備率 | |
| | 【総務】G空間防災システム実装自治体数 | |
| | 【総務】標準仕様の策定の割合 | |
| | 【文科】ETS-9の技術実証(大電力化、高排熱技術) | |
| | 【文科】ETS-9の技術実証(全電化衛星技術) | |
| | 【国交】電子基準点の観測データの取得率 | |
| | 【防衛】資機材等の整備率 | |
| | 【防衛】車両等の整備率 | |
| | 【警察】ドローンの飛行訓練の実施状況 | |
| | 【警察】映像伝送用資機材等の更新・増強率 | |
| | 【環境】環境省が自治体を対象に実施したアンケートで暑くなる前から熱中症対策を行ったと回答した割合 | |
| 5-1) サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による国際競争力の低下 | | 10 |
| | 【内閣府】大企業のBCPの策定割合 | |
| | 【内閣府】中堅企業のBCPの策定割合 | |
| | 【農水】水産物の流通拠点となる漁港のうち、災害発生時における水産物の早期回復体制が構築された漁港の割合 | |
| | 【農水】防災機能の強化対策が講じられた漁村の人口比率(H29～) | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】港湾BCPが策定された国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾において、関係機関と連携した訓練の実施割合 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に航空ネットワークを維持する機能を有する空港数 | |
| 5-2) エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響 | | 7 |
| | 【経産】災害時石油供給連携計画実施訓練の前年度課題の改善率 | |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【経産】低圧本支管の耐震化率 | |
| | 【防衛】燃料の輸送支援に係る防災訓練の実施率 | |
| | 【経産】住民拠点SSの設置数 | |
| | 【経産】SS過疎地自治体におけるSS過疎地対策計画策定件数(累積) | |
| | 【環境】本事業により整備した避難所等の数 | |
| 5-3) コンビナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 | | 2 |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【国交】津波防災情報の整備率 | |
| 5-4) 海上輸送の機能の停止による海外貿易への甚大な影響 | | 5 |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】GNSS技術を用いた最低水面調査の実施率 | |
| | 【国交】港湾BCPが策定された国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾において、関係機関と連携した訓練の実施割合 | |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|--|--|-----|
| 5-5) 太平洋ベルト地帯の幹線が分断するなど、基幹的陸海上交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響 | | 19 |
| | 【国交】港湾BCPが策定された国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾において、関係機関と連携した訓練の実施割合 | |
| | 【国交】緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率 | |
| | 【国交】市街地等の幹線道路の無電柱化率 | |
| | 【国交】道路斜面や盛土等の要対策箇所の対策率 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に航空ネットワークを維持する機能を有する空港数 | |
| | 【国交】下水道施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【国交】災害時における主要な管渠の機能確保率 | |
| | 【国交】地籍調査進捗率 | |
| | 【国交】南海トラフ地震の津波により建物が全壊する可能性が高い地域のうち、地籍調査の未実施地域における官民境界情報の整備率 | |
| | 【国交】三大都市圏環状道路整備率 | |
| | 【国交】道路による都市間到達性の確保率 | |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】GNSS技術を用いた最低水面調査の実施率 | |
| | 【警察】プローブ情報処理システムによる道路状況等の把握割合 | |
| | 【警察】信号機電源付加装置の整備率(補助事業) | |
| | 【警察】老朽化した信号機の更新率(補助事業) | |
| 5-6) 複数空港の同時被災による国際航空輸送への甚大な影響 | | 4 |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に航空ネットワークを維持する機能を有する空港数 | |
| | 【国交】浸水対策を行った航空輸送上重要な空港数 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波避難計画策定数 | |
| 5-7) 金融サービス・郵便等の機能停止による国民生活・商取引等への甚大な影響 | | 5 |
| | 【金融】金融機関におけるBCPの策定率(全預金取扱金融機関) | |
| | 【金融】金融機関のシステムセンター等の重要拠点のバックアップサイトの確保(全預金取扱金融機関) | |
| | 【金融】金融機関におけるシステムセンター等の重要拠点への自家発電機の設置(全預金取扱金融機関) | |
| | 【金融】全国銀行協会など関係業界内横断的な防災訓練等の実施 | |
| | 【金融】三市場合同の横断的訓練の実施 | |
| 5-8) 食料等の安定供給の停滞 | | 12 |
| | 【農水】水産物の流通拠点となる漁港のうち、災害発生時における水産業の早期回復体制が構築された漁港の割合(BCP) | |
| | 【農水】水産物の流通拠点となる漁港のうち、災害発生時における水産業の早期回復体制が構築された漁港の割合(耐震化等) | |
| | 【農水】食品産業事業者における連携・協力体制の構築割合 | |
| | 【農水】1中央卸売市場当たりの取扱金額 | |
| | 【農水】更新等が必要と判明している基幹的農業水利施設における対策着手の割合 | |
| | 【農水】農道橋(延長15m以上)・農道トンネルの機能保全計画(個別施設計画)の策定割合。 | |
| | 【農水】林道橋(延長4m以上)・林道トンネルの機能保全計画(個別施設計画)の策定割合。 | |
| | 【農水】防災機能の強化対策が講じられた漁村の人口比率(H29～) | |
| | 【農水】湛水被害等が防止される農地及び周辺地域の土地改良長期計画での目標面積に対する達成率 | |
| | 【国交】災害時における海上からの緊急物資等の輸送体制がハード・ソフト一体として構築されている港湾(重要港湾以上)の割合 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に航空ネットワークを維持する機能を有する空港数 | |
| 5-9) 異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響 | | 1 |
| | 【厚労】上水道の基幹管路の耐震適合率 | |
| 6-1) 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止 | | 8 |
| | 【経産】災害時石油供給連携計画実施訓練の前年度課題の改善率 | |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【環境】災害時再稼働可能な施設の割合 | |
| | 【防衛】燃料の輸送支援に係る防災訓練の実施率 | |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |
| | 【国交】津波防災情報の整備率 | |
| | 【環境】本事業により整備した避難所等の数 | |
| 6-2) 上水道等の長期間にわたる供給停止 | | 1 |
| | 【厚労】上水道の基幹管路の耐震適合率 | |
| 6-3) 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止 | | 10 |
| | 【国交】下水道施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【国交】災害時における主要な管渠の機能確保率 | |
| | 【国交】災害時における下水処理場の機能確保率 | |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【国交】下水道津波BCPのブラッシュアップ率 | |
| | 【農水】農業集落排水施設の機能診断の実施率 | |
| | 【環境】災害復旧に対応した浄化槽台帳システム整備自治体数 | |
| | 【環境】浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の基数割合 | |
| | 【環境】浄化槽整備区域内の浄化槽人口普及率 | |
| | 【環境】災害時再稼働可能な施設の割合 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|---------|---|-----|
| 6-4) | 新幹線等基幹的交通から地域交通網まで、陸海空の交通インフラの長期間にわたる機能停止 | 20 |
| | 【国交】航路啓開計画が策定されている緊急確保航路の割合 | |
| | 【国交】国管理空港における地震・津波早期復旧計画策定数 | |
| | 【国交】港湾BCPが策定された国際戦略港湾・国際拠点港湾・重要港湾において、関係機関と連携した訓練の実施割合 | |
| | 【国交】港湾広域防災施設で実施する防災訓練 | |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【国交】緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率 | |
| | 【国交】道路斜面や盛土等の要対策箇所の対策率 | |
| | 【農水】農道橋(延長15m以上)・農道トンネルの機能保全計画(個別施設計画)の策定割合。 | |
| | 【農水】林道橋(延長4m以上)・林道トンネルの機能保全計画(個別施設計画)の策定割合。 | |
| | 【警察】信号機電源付加装置の整備率(補助事業) | |
| | 【警察】老朽化した信号機の更新率(補助事業) | |
| | 【環境】漂着物等の回収距離 | |
| | 【文科】ALOS-2の運用年数 | |
| | 【文科】公共の安全の確保(国内及びアジア地域等の災害時の情報把握) | |
| | 【文科】公共の安全の確保(地殻変動の予測・監視) | |
| | 【国交】電子基準点の観測データの取得率 | |
| | 【国交】津波防災情報の整備率 | |
| | 【警察】ブロープ情報処理システムによる道路状況等の把握割合 | |
| | 【国交】航空輸送上重要な空港のうち、地震時に航空ネットワークを維持する機能を有する空港数 | |
| | 【国交】浸水対策を行った航空輸送上重要な空港数 | |
| 6-5) | 防災インフラの長期間にわたる機能不全 | 7 |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 河川 [地方公共団体] | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 ダム [地方公共団体] | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 砂防 [地方公共団体] | |
| | 【国交】災害時における下水処理場の機能確保率 | |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【国交】電子基準点の観測データの取得率 | |
| | 【国交】全国陸域の99の活火山のうちSAR衛星データによる地殻変動の監視を行った割合 | |
| 7-1) | 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生 | 12 |
| | 【国交】地震時等に著しく危険な密集市街地の解消面積 | |
| | 【国交】一定水準の防災機能を備えるオープンスペースが一箇所以上確保された大都市の割合 | |
| | 【国交】公園施設の長寿命化計画策定率 | |
| | 【厚労】上水道の基幹管路の耐震適合率 | |
| | 【文科】公立小中学校施設の構造体の耐震化率 | |
| | 【文科】緊急的に必要な公立小中学校施設の老朽化対策の実施率 | |
| | 【文科】国立大学法人等施設の耐震化率 | |
| | 【文科】教育研究活動に著しく支障がある国立大学法人等施設(ライフラインを含む)の老朽化対策の実施率 | |
| | 【文科】国立大学附属病院の整備の進捗率 | |
| | 【文科】私立学校施設の耐震化率(高校等以下) | |
| | 【文科】私立学校施設の耐震化率(大学等) | |
| | 【文科】防災拠点に指定されている公立社会体育施設(体育館)の耐震化率 | |
| 7-2) | 海上・臨海部の広域複合災害の発生 | 7 |
| | 【経産】非常用発電設備の設置・増強や強靱性評価、強靱化対策を行っている製油所・油槽所の割合 | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・樋門等の耐震化率 | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率 | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 河川 [地方公共団体] | |
| | 【環境】漂着物等の回収距離 | |
| 7-3) | 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺 | 3 |
| | 【国交】市街地等の幹線道路の無電柱化率 | |
| | 【国交】災害時における主要な管渠の機能確保率 | |
| | 【国交】下水道施設の長寿命化計画策定率 | |
| 7-4) | ため池、防災インフラ、天然ダム等の損壊・機能不全や堆積した土砂・火山噴出物の流出による多数の死傷者の発生 | 6 |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 河川 [地方公共団体] | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 ダム [地方公共団体] | |
| | 【国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 砂防 [地方公共団体] | |
| | 【農水】ハザードマップ等ソフト対策を実施した防災重点ため池の割合 | |
| | 【農水】湛水被害等が防止される農地及び周辺地域の土地改良長期計画での目標面積に対する達成率 | |
| | 【文科】職員に対する研修の実施状況(校内研修の実施) | |
| 7-5) | 有害物質の大規模拡散・流出による国土の荒廃 | 2 |
| | 【経産】対策を行った集積場の数 | |
| | 【経産】耐震化を行った休廃止鉱山の重点集積場の数 | |

進捗管理のための定量的な指標(重要業績指標(KPI))候補一覧

| 該当プログラム | 指標名 | 指標数 |
|--|--|-----|
| 7-6) 農地・森林等の被害による国土の荒廃 | | 11 |
| | 【農水】地域が主体となった地域共同活動への延べ参加者数 | |
| | 【農水】農業集落排水施設の機能診断の実施率 | |
| | 【内閣府】地域再生法の規定により内閣総理大臣が認定した地域再生計画に基づき実施する基盤整備事業の完了数 | |
| | 【環境】「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」におけるニホンジカの個体数目標 | |
| | 【環境】「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」におけるイノシシの個体数目標 | |
| | 【環境】自然再生事業実施計画の策定数 | |
| | 【環境】自然公園等施設の緊急対策箇所 | |
| | 【環境】漂着物等の回収距離 | |
| | 【経産】耐震化を行った休廃止鉱山の重点集積場の数 | |
| | 【農水】適切な間伐等の実施により、市町村森林整備計画等において山地災害防止機能/土壌保全機能維持増進森林等に区分された育成林のうち、機能が良好に保たれている森林の割合 | |
| | 【農水】周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の数 | |
| 8-1) 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 | | 7 |
| | 【環境】仮置場整備率 | |
| | 【環境】災害時再稼働可能な施設の割合 | |
| | 【環境】災害廃棄物処理計画策定率(都道府県) | |
| | 【環境】災害廃棄物処理計画策定率(市区町村) | |
| | 【環境】教育・訓練の実施率(都道府県) | |
| | 【環境】教育・訓練の実施率(市区町村) | |
| | 【環境】有害廃棄物対策検討実施率 | |
| 8-2) 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復 | | 1 |
| | 【環境】自然公園等施設の緊急対策箇所 | |
| 8-3) 広域地盤沈下等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復興が大幅に遅れる事態 | | 6 |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において、今後対策が必要な水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率 | |
| | 【農水国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【農水国交】個別施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 | |
| | 【文科】ALOS-2の運用年数 | |
| | 【文科】公共の安全の確保(国内及びアジア地域等の災害時の情報把握) | |
| | 【文科】公共の安全の確保(地殻変動の予測・監視) | |
| 8-4) 貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失 | | 4 |
| | 【環境】「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」におけるニホンジカの個体数目標 | |
| | 【環境】「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」におけるイノシシの個体数目標 | |
| | 【環境】自然再生事業実施計画の策定数 | |
| | 【環境】自然公園等施設の緊急対策箇所 | |
| 8-5) 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態 | | 7 |
| | 【国交】地籍調査進捗率 | |
| | 【国交】南海トラフ地震の津波により建物が全壊する可能性が高い地域のうち、地籍調査の未実施地域における官民境界情報の整備率 | |
| | 【法務】登記所備付地図作成作業第2次10か年計画、大都市型登記所備付地図作成作業10か年計画、震災復興型登記所備付地図作成作業3か年計画及び震災復興型登記所備付地図作成作業第2次3か年計画の進捗率 | |
| | 【国交】電子基準点の観測データの取得率 | |
| | 【国交】全国活断層帯情報等の整備進捗率 | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) | |
| | 【国交】南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・樋門等の耐震化率 | |
| 8-6) 国際的風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による国家経済等への甚大な影響 | | 1 |
| | 【金融】金融機関におけるBCPの策定率(全預金取扱金融機関) | |